

## 首都圏初！ 新しい「ふるさと納税」のカタチ 休眠楽器を活用した「楽器寄附ふるさと納税」開始

北本市内中学校（全4校）では、吹奏楽部で使用する楽器の恒常的な不足の解消を目指し、全国から使われなくなった「休眠楽器」を寄附していただく「楽器寄附ふるさと納税」の受付を7月1日から始めます。

これまでの寄附額に応じて地域の返礼品を送るふるさと納税と異なり、現物を寄附いただき査定額を控除する新しいスタイルのふるさと納税です。三重県いなべ市、北海道東神楽町に次いで、全国3番目、首都圏で初めてとなるの実施自治体となります。

### 1 楽器寄附ふるさと納税について

全国に眠る使われなくなった不用楽器を市町村に寄附いただき、楽器が不足している中学校の吹奏楽部や小学校で再活用するものです。

寄附者は楽器の査定額が税額控除される「ふるさと納税制度」を活用した取り組みです。  
※寄附の流れの詳細については、下記楽器寄附ふるさと納税専用サイトをご覧ください。

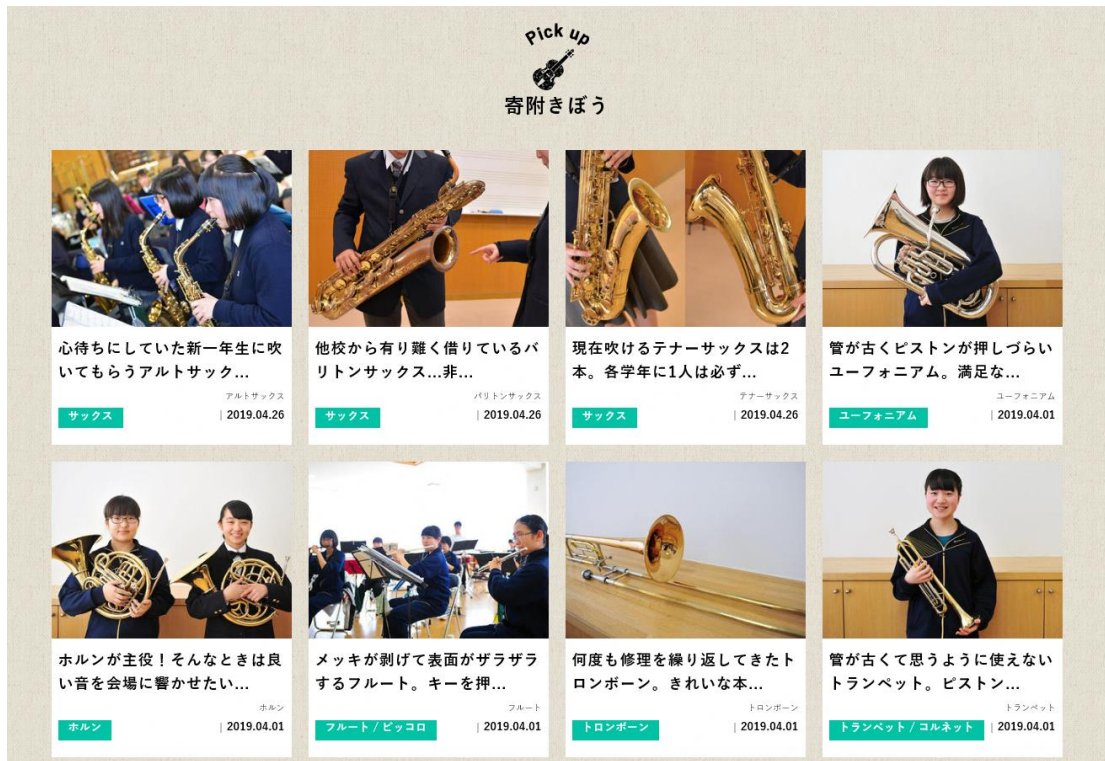
### 2 北本市での今後の予定

- ・令和元年7月1日より専用サイトを開設し運営を始めます。
- ・市内全4中学校の吹奏楽部（部員総数約150人）で募集を開始し、サクソ、ユーフォニアム、クラリネット、チューバ、トロンボーン等の楽器の募集から始めます。

### 3 掲載予定ホームページ URL・QRコード（楽器寄附ふるさと納税専用サイト）

<https://www.gakki-kifu.jp/>





#### 4 関係者の思い

##### ・市内中学校吹奏楽部員

学校の楽器は割れやタンポの劣化が激しくて、修理もイタチごっこです。小学生が体験に来たり新入生が仮入部に来てくれたりしても、貸してあげられる楽器がなくて、個人で購入した楽器を一時的に貸してあげることもよくあります。もし楽器を寄附していただけるのなら、パート全員がよい楽器で音色をそろえて素敵な音楽を演奏したいです。また、寄附していただいた想いを受けて、今まで以上に練習し、最高の演奏をしたいです！

##### ・北本市役所学校教育課職員

市内4中学校の生徒約1,550人のうち、吹奏楽部員は150人を超えます(割合にして約10%)。

一方で、市内中学校におけるすべての部活動において、吹奏楽部の活動費用は、頭一つ抜けて高額です。(部費として年間3万円前後+楽器購入費10万円~30万円程度)せめて、学校として保有している楽器がもっと充実すれば、個人の負担も大幅に減っていきます。

しかし、人口減等から、市として厳しい財政運営を求められる中で、学校に対する予算も年々減少傾向となっています。楽器購入に充てられる予算も今年度半減(84万円から42万円)したところでした。

当事業で楽器の寄附がいただければ、現場の教職員のみならず吹奏楽部員の保護者である市民にとって、非常にありがたい支援になると思います。

##### ・北本市役所企画課(ふるさと納税担当)職員

ふるさと納税制度自体の存在意義が社会的に問われている中、地域やそこに住む人々を応援したいという気持ちをしっかりと反映できる素晴らしい取組みだと思えます。

こうしたふるさと納税の取組みが今後も増えていくことを期待しています。